

農地保全意識向上の推進

都市的農業地域

たわら さとまも かつどうそしき しじょうなわて
田原の郷守る活動組織（大阪府四條畷市）

- 田原の郷守る活動組織の活動地域は、大阪府東部に位置する標高120m～270mの耕地であり、農業者は、ため池の水を利用して稲作をしている。今後、農業振興を図る上で、農業用排水路の保安全管理や、危険地区の清掃等が必要となってくるが、農業者の高齢化や担い手不足などにより農業者が減少する等、多くの課題を抱えている。
- 交付金を活用し、地域住民と協力して、農道の草刈りや農道の保全、また、業者へ委託し危険な場所の補修を行い、効率よく農作業ができる環境を整えた。

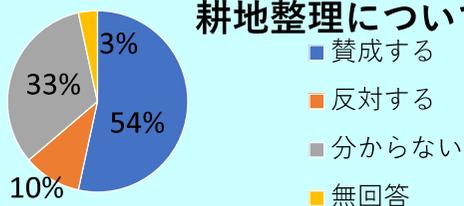
【地区概要】

- ・ 取組面積25.58ha
（田20.64ha、畑4.94ha）
- ・ 資源量 開水路12.5km
パイプライン1.3km
農道4km
ため池6箇所
- ・ 主な構成員 農業者、土地改良区
- ・ 交付金 約718千円（R03）

活動開始前の状況や課題

- 本地域は、土地の性質上、がけや急坂の法面が多く存在し、周辺を流れる農業用排水路が手入れしにくい場所であることから、農作業に影響を与えていた。
- 農業者の高齢化に伴い、手入れが可能な範囲の減少、また、農業者数の減少により、農業者だけで全ての作業を行うことが難しい状態となっていた。
- 活動組織の会員を対象としたアンケートを実施し、今後についての意向調査を行った。

耕地整理について



取組内容

- 交付金を活用することで、今まではあまり手の届かなかった箇所や、金銭面で負担が大きく、対処が難しかった地区についても作業を行うことができた。

【作業前】



【作業後】



取組の効果

- 農道の草刈り及び整備に50人が参加し、農道の保全を促進を図った。
- 水路清掃の活動に46人が参加し、溝の泥上げや草刈り等を行い、農地維持に努めた。

